

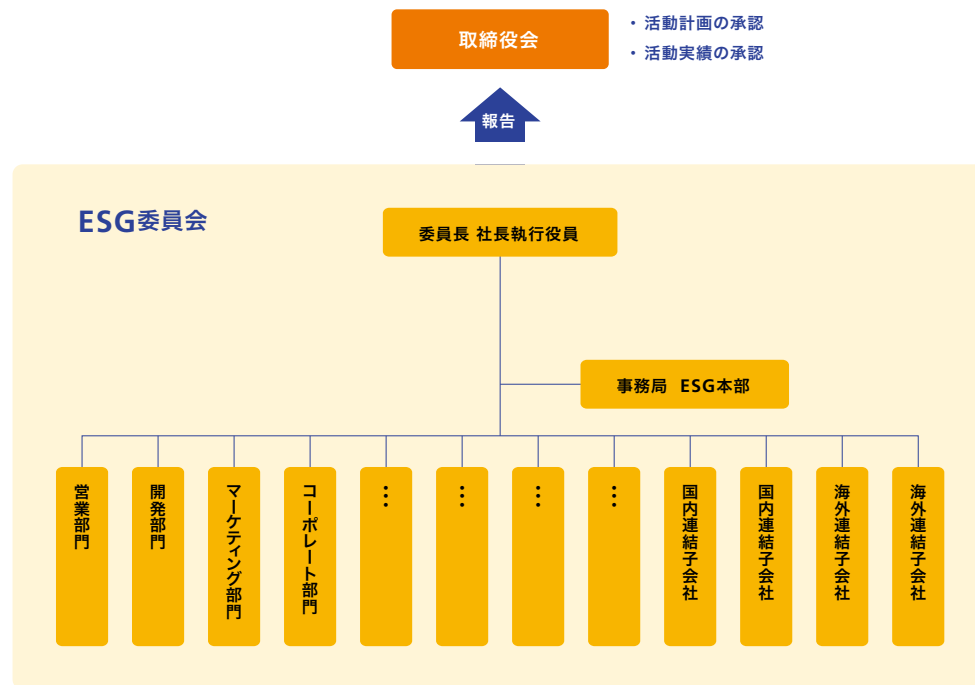
## マネジメント体制

102-29,102-30,102-31,102-32,102-33,205-2

## ESG推進体制

102-18,102-19,102-20,102-22,102-26,102-27,103-3

当社では、ステークホルダーの期待に応えるESG活動を具現化し、円滑に推進するための体制を構築しています。社長執行役員を委員長とした全社横断の推進組織「ESG委員会」を年4回開催し、ESGに関わる活動の共有を行い、経営に活かしています。



## ESG委員会の役割

- ①中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2030」および中期経営計画のESGに関する進捗状況の審議・決定。
- ②グループ全体のサステナビリティやESGに関するリスクと機会および重要課題の特定と対応、情報開示に関する審議・決定。
- ③ESGに関する審議・決定した内容の取締役会への報告。

## ESG委員会における主な取り組みテーマと分類

<b>ISO26000</b> 中核主題	組織統治、人権、労働慣行、環境、公正な事業慣行、消費者課題、コミュニティ参画および開発
<b>E 主な取り組みテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>気候変動：温室効果ガス、エネルギー使用管理、気候変動リスク</li> <li>水資源：水使用、水使用量削減</li> <li>汚染と資源：廃棄物、資源使用、リサイクル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サプライチェーン：サプライヤー方針、環境問題、持続可能なパーム油調達</li> <li>生物多様性</li> <li>環境配慮型商品の開発</li> </ul>
<b>S 主な取り組みテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>労働基準：児童労働の禁止、強制労働の禁止、差別禁止、結社の自由、団体交渉権、最低賃金、ハラスメントの防止</li> <li>健康、安全</li> <li>人権：デュー・ディリジェンス、子どもの権利、児童労働の禁止、地域雇用、苦情処理</li> <li>社会：コミュニティ投資、社会貢献活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客に対する責任：責任ある広告とマーケティング、顧客満足</li> <li>サプライチェーン：児童労働の禁止、強制労働の禁止、差別禁止、結社の自由、団体交渉権、最低賃金、健康安全、デュー・ディリジェンス、能力開発</li> <li>商品品質、商品安全</li> </ul>
<b>G 主な取り組みテーマ</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>腐敗防止：贈収賄、インサイダー取引、内部通報制度、教育、リスク評価</li> <li>コーポレート・ガバナンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社的なリスクマネジメント：環境、社会、コーポレート・ガバナンス</li> <li>コンプライアンス</li> <li>税の透明性</li> </ul>

2021年はESG委員会を4回開催し、以下の討議を実施しました。

### 主な討議テーマ(2021年)

- 中長期ESG目標「Kyo-sei Life Vision 2030」「環境目標2030」および中期経営計画のESGに関する進捗状況
- 再生可能エネルギーの活用について
  - 「SDGs Theme Guideline」の運用について
  - Sedex推進について
  - 統合レポート、サステナビリティレポートの制作方針、進捗について